

平成21年度

農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査

新型インフルエンザに関する意識・意向調査結果

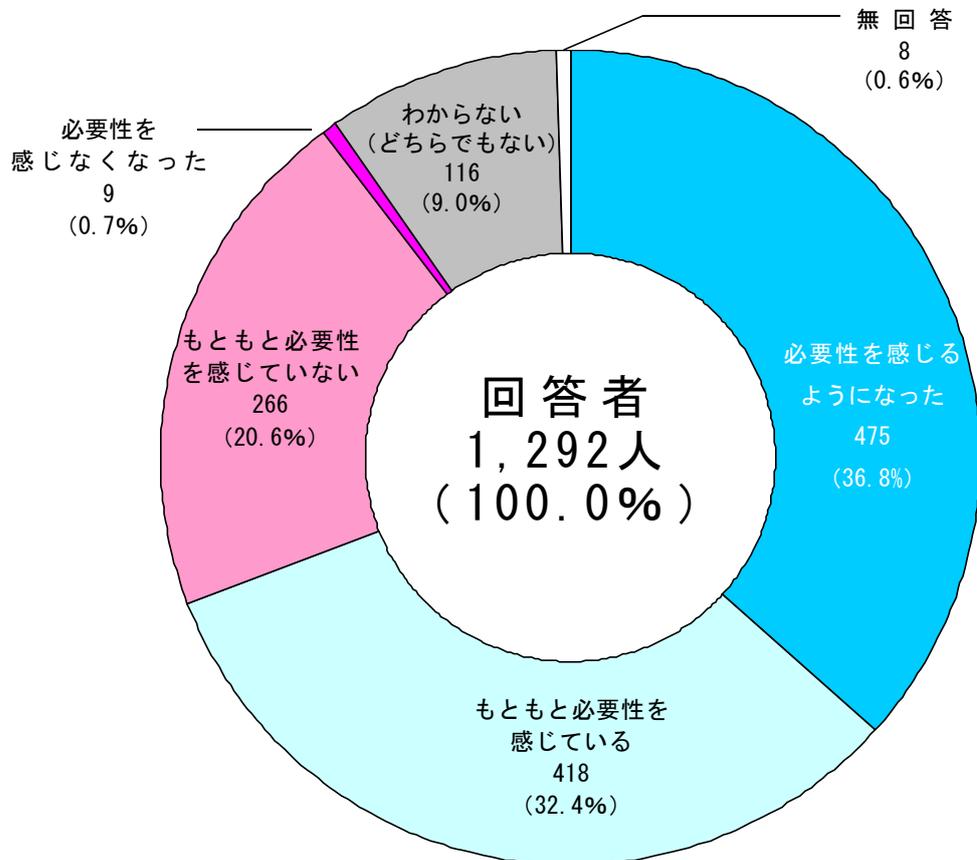
この調査は、平成21年9月中旬から10月上旬にかけて、農林水産情報交流ネットワーク事業の消費者モニター1,500名の方を対象に実施し、1,292名から回答を得た結果である。

【調査結果の概要】

1 新型インフルエンザの発生(平成21年4月)前と比べた家庭での食料品備蓄の必要性に対する意識

現在、新型インフルエンザの感染が拡大しているが、新型インフルエンザの発生(平成21年4月)前と比べて、家庭での食料品備蓄の必要性について意識がどのように変化したかを伺ったところ、「必要性を感じるようになった」が最も高い割合(36.8%)で、「もともと必要性を感じている」(32.4%)を加えると全体の69.2%が家庭での食料品備蓄の必要性を感じていると回答した。(図1)

図1 家庭での食料品備蓄の必要性に対する意識



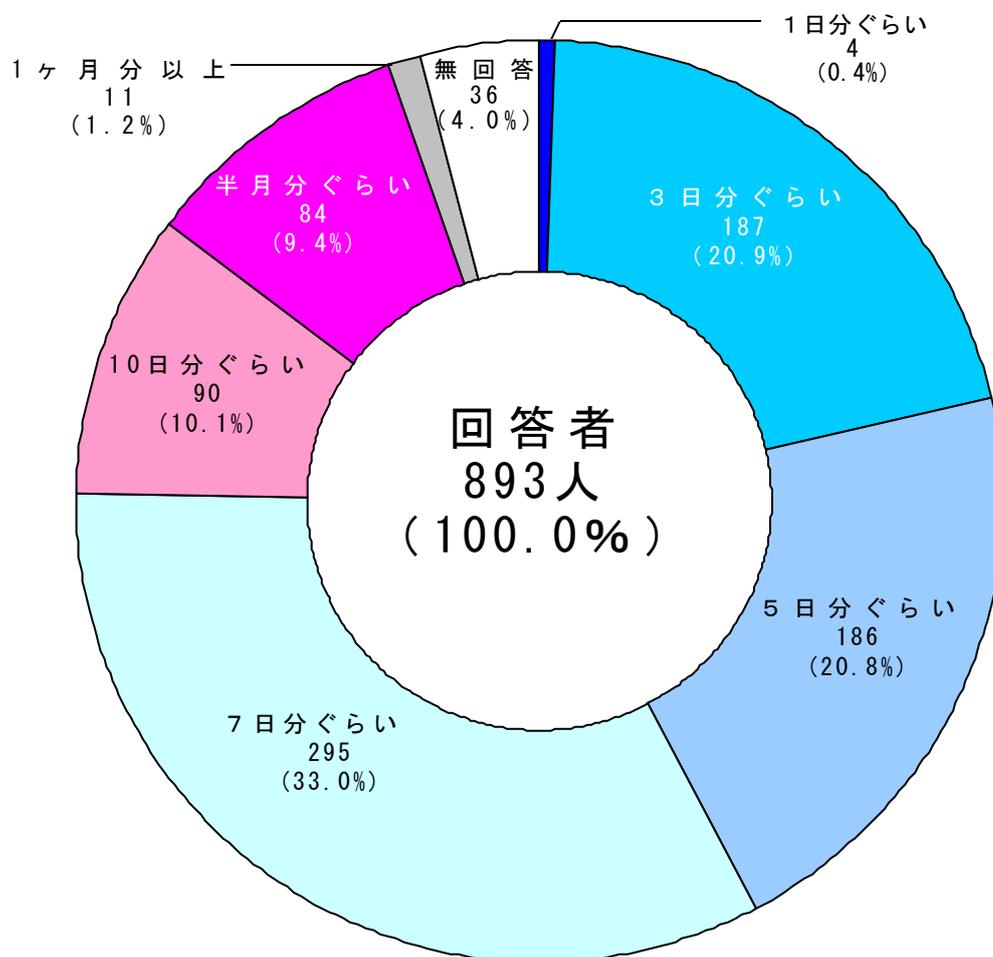
2 備蓄に対する意識・意向

備蓄の必要性について「必要性を感じるようになった」、「もともと必要性を感じている」と答えた方に限定して伺っています。

(1) 必要と考える備蓄量

家庭で必要と考える食料品の備蓄量について伺ったところ、「7日分ぐらい」が最も高い割合(33.0%)で、次いで「3日分ぐらい」(20.9%)、「5日分ぐらい」(20.8%)となっており、政府が推奨する「半月分ぐらい」は9.4%であった。(図2-1)

図2-1 必要と考える備蓄量



(2) 備蓄しようと思う品目(複数回答)

備蓄をする際にどのような品目を備蓄しようと思うかについて伺ったところ、主食である米(もち・無菌包装米飯を含めても可)が最も多く(90.4%)、米と同様に主食となる小麦製品等(うどん、そば、パスタ、中華麺、インスタント麺、シリアル類、パン等)についても81.7%であった。

また、副食となる缶詰については84.4%であり、主食となる品目と備蓄適性に優れた品目が柱となる結果であった。(図2-2)

図2-2 備蓄しようと思う品目(回答者 893人)

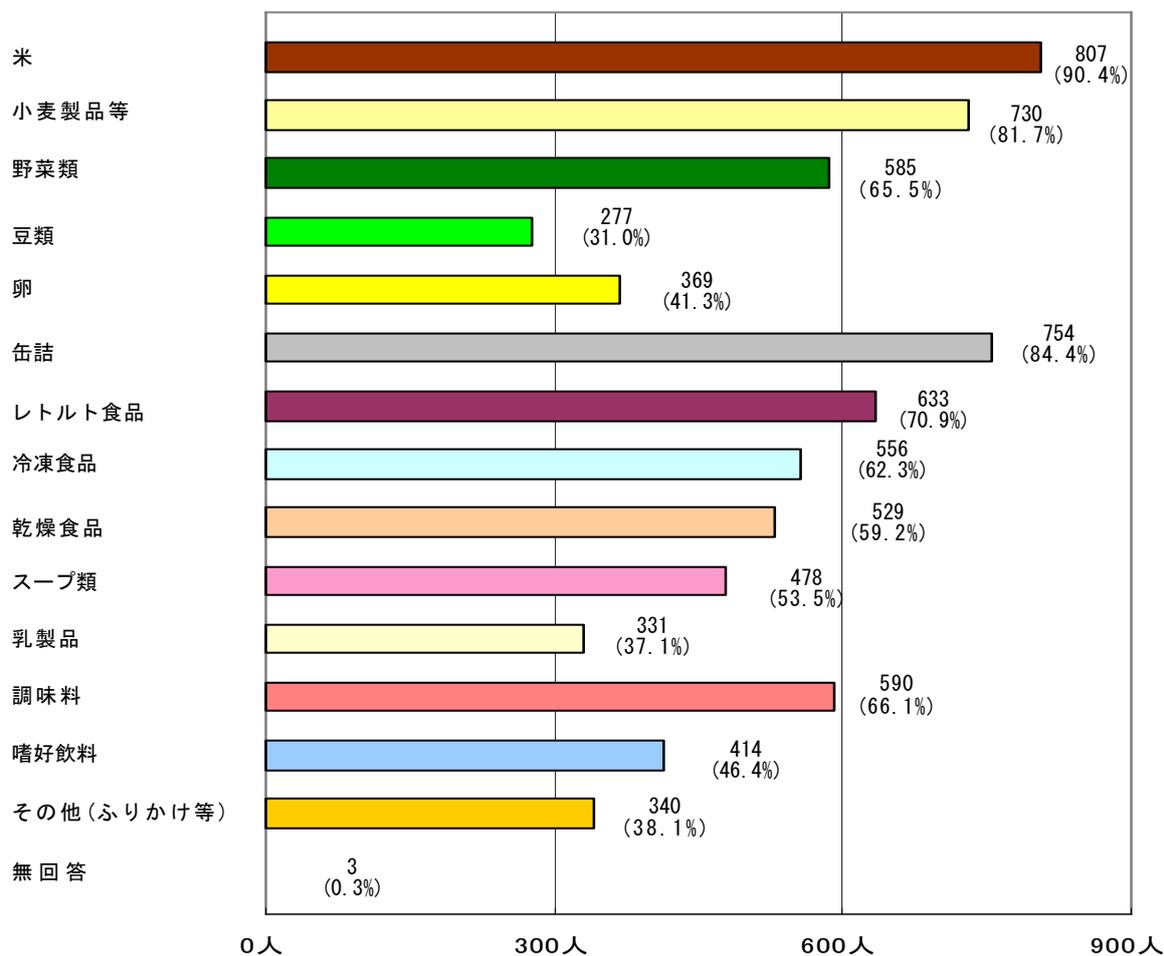
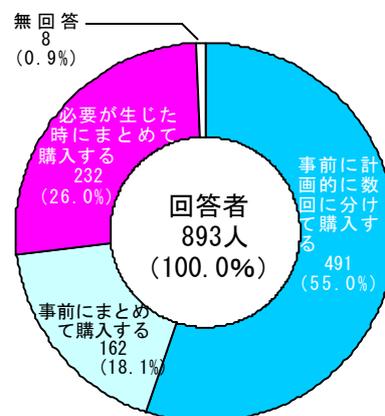


図2-3 備蓄をする際の購入方法

(3) 備蓄をする際の購入方法

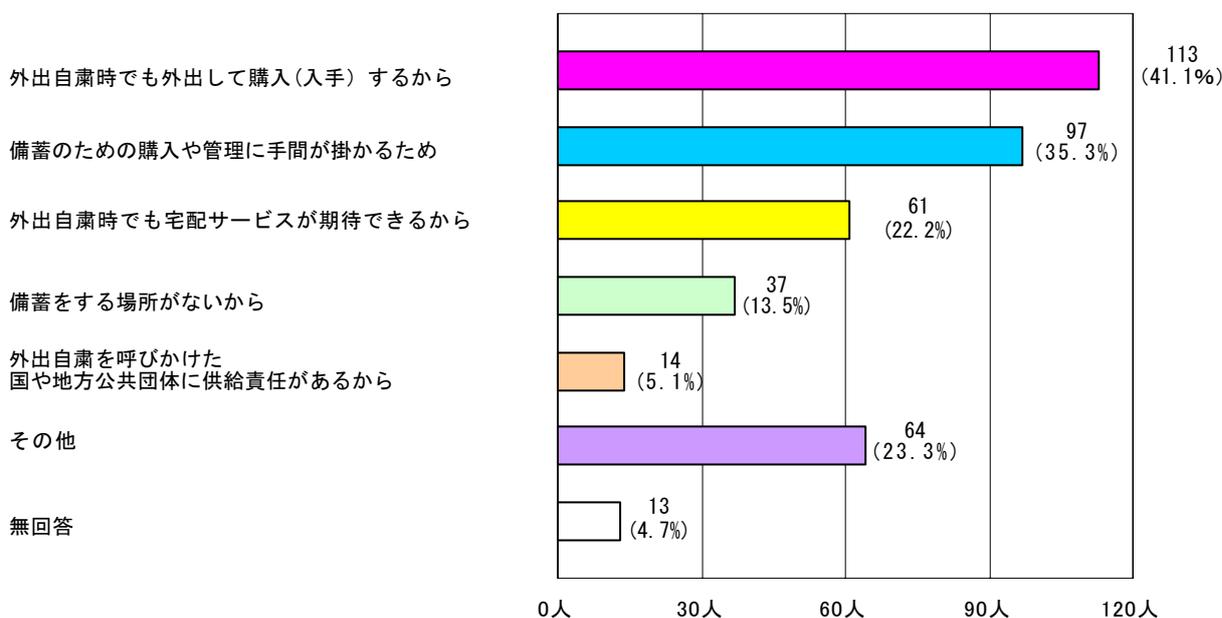
実際に家庭で食料品備蓄を行うにあたって、どのように備蓄品目を購入しようと考えているのかについて伺ったところ、「事前に計画的に数回に分けて購入する」が最も高い割合(55.0%)であった。(図2-3)



3 備蓄の必要性を感じない理由(複数回答)

備蓄の必要性について、「もともと必要性を感じていない」、「必要性を感じなくなった」と回答した方(全体の約2割)にその理由について伺ったところ、「外出自粛時でも外出して購入するから」と回答した割合が最も高く(41.1%)、次いで「備蓄のための購入や管理に手間が掛かるため」(35.3%)、「外出自粛時でも宅配サービスが期待できるから」(22.2%)であった。(図3)

図3 備蓄の必要性を感じない理由(回答者 275人)



4 「新型インフルエンザに備えた家庭用食料品備蓄ガイド」に対する意識・意向

消費者モニターに平成21年4月に農林水産省が作成し、公表した「新型インフルエンザに備えた家庭用食料品備蓄ガイド」(以下、「備蓄ガイド」という。)を送付し、その認知度及び参考度合いについて伺いました。

図4-1 備蓄ガイドの認知度

(1) 認知度

備蓄ガイドの認知度について伺ったところ、70.7%の方が「知らなかった(聞いたこともなかった)」と回答し、「知っていた(聞いたことはあった)」と回答した方は28.6%であった。(図4-1)

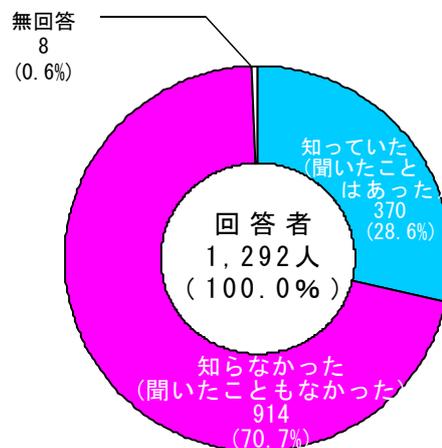
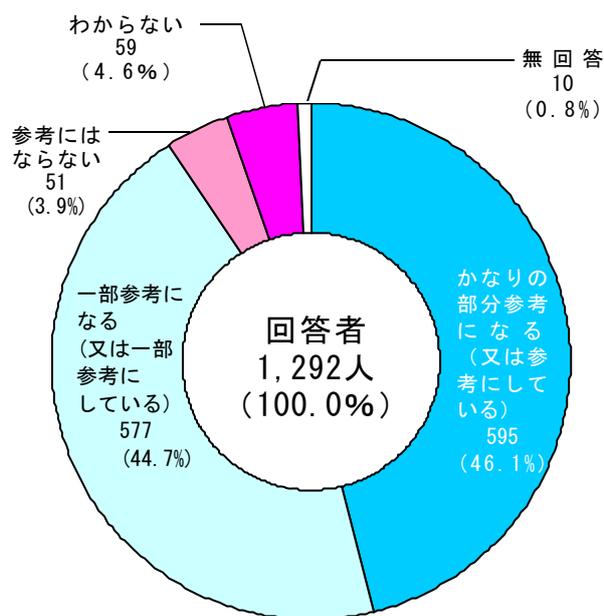


図 4-2 備蓄ガイドの参考度合い

(2) 備蓄ガイドの参考度合い

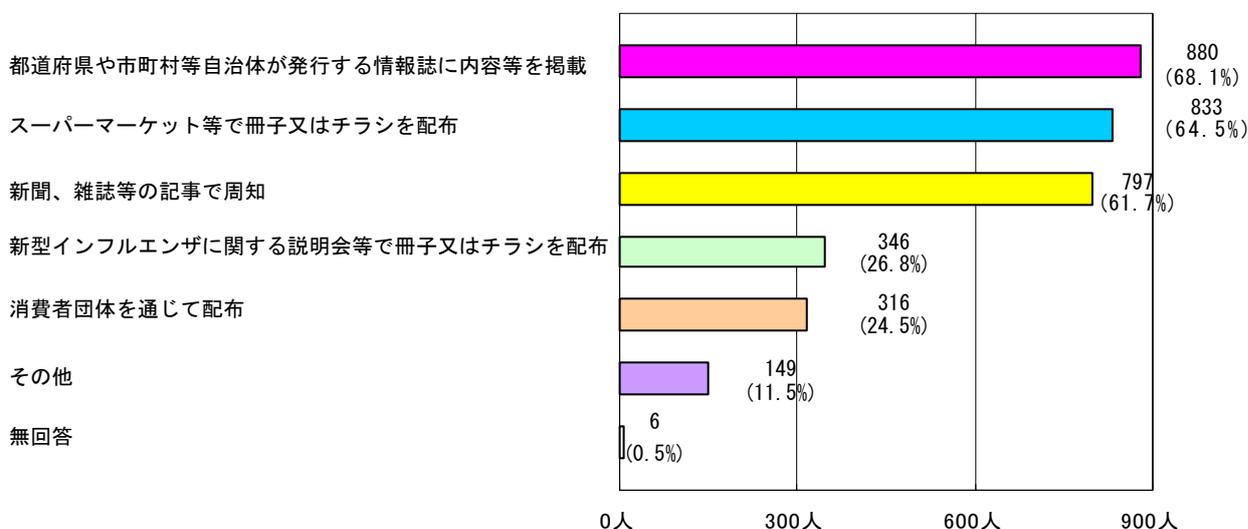
備蓄ガイドの認知度は28.6%であったが、参考度合いについて伺ったところ、「かなりの部分参考になる(又は参考にしている)」の割合が最も高く(46.1%)、「一部参考になる(又は一部参考にしている)」を加えると90.8%であった。(図4-2)



(3) より多くの方に参考にしていただくための手段・方法(複数回答)

より多くの方に備蓄ガイドを参考にしていただくために、どのようなことをすればいいと考えるかと伺ったところ、「都道府県や市町村等自治体が発行する情報誌に内容等を掲載」が最も高い割合(68.1%)で、次いで、「スーパーマーケット等で冊子又はチラシを配布」(64.5%)、「新聞、雑誌等の記事で周知」(61.7%)という回答であった。(図4-3)

図 4-3 より多くの方に参考にして頂くための手段・方法(回答者1,292人)

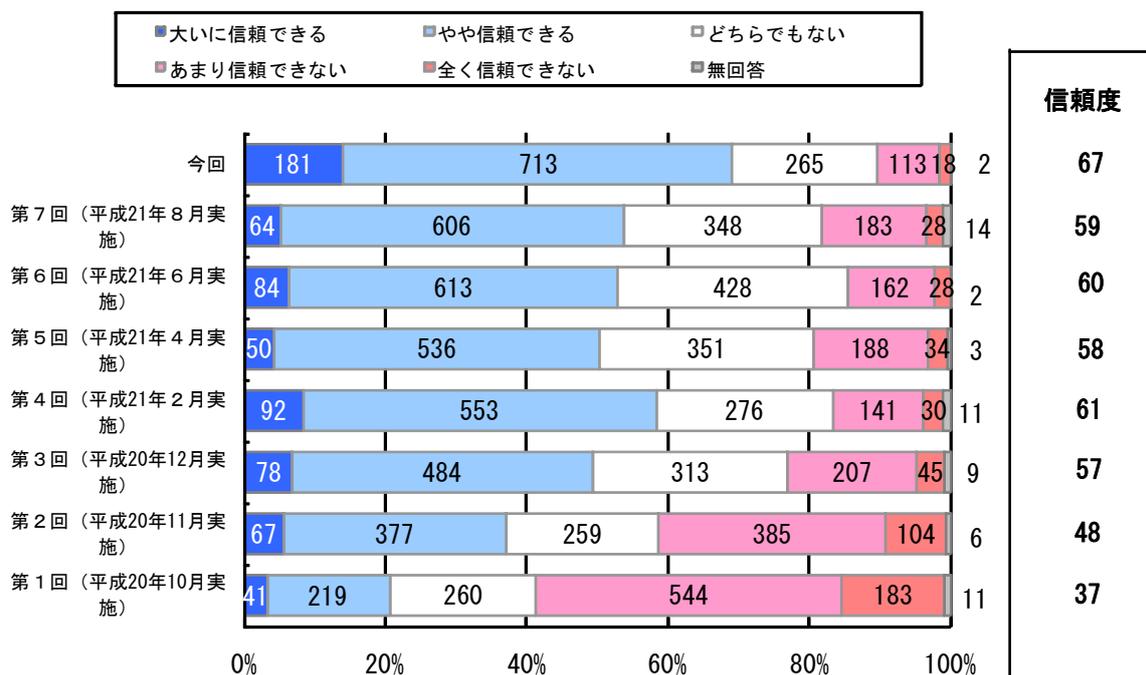


5 「消費者が安全な食料を安心して購入・消費できる」ための農林水産省の取組

平成20年10月以降、定期的に調査してきた「消費者が安全な食料を安心して購入・消費できる」ための農林水産省の取組に対する消費者モニターの評価については、69%のモニターが「信頼できる」としたのに対し、10%のモニターが「信頼できない」と回答した。

また、これを指数化した信頼度は「67」となった。

図5-1 「消費者が安全な食料を安心して購入・消費できる」ための農林水産省の取組



- ※ 第7回：平成21年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査「農林水産省における改革への取組に関する意識・意向調査結果」（平成21年11月20日公表）
- 第6回：平成21年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査「漁業の担い手の確保・育成に関する意識・意向調査結果」（平成21年7月31日公表）
- 第5回：平成21年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査「農林水産省改革の取組状況に関する意識・意向調査結果」（平成21年5月1日公表）
- 第4回：平成20年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査「農林水産省の広報活動に関する意識・意向調査結果」（平成21年2月26日公表）
- 第3回：平成20年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査「事故米に関する農林水産省の取組についての意識・意向調査結果（第2回）」（平成20年12月25日公表）
- 第2回：平成20年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査「事故米に関する農林水産省の取組についての意識・意向調査結果（第1回）」（平成20年11月28日公表）
- 第1回：平成20年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査「農林水産省の役割に対する期待と評価に関する意識・意向調査」（平成20年11月28日公表）

「大いに信頼できる」を100
 「やや信頼できる」を75
 「どちらでもない」を50
 「あまり信頼できない」を25
 「全く信頼できない」を0
 と指数化した数値

【 統 計 表 】

《 目 次 》

- 1 新型インフルエンザの発生（平成21年4月）前と比べた、
家庭での食料品備蓄の必要性に対する意識
- 2 備蓄に対する意識意向
 - （1）必要と考える備蓄量
 - （2）備蓄しようと思う品目
 - （3）購入の仕方
- 3 備蓄を必要だと思わない理由
- 4 「新型インフルエンザに備えた家庭用食料品備蓄ガイド」に対する意識・意向
 - （1）内容（又は存在）についての認知度
 - （2）家庭における食料品備蓄を検討するうえでの参考度合い
 - （3）多くの方に参考にしていただくための手段・方法

1 新型インフルエンザの発生（平成21年4月）前と比べた、
家庭での食料品備蓄の必要性に対する意識の変化

単位：％

区 分	回答者数 (人)	計	必要性を 感じるよ うになっ た	もともと 必要性を 感じてい る	もともと 必要性を 感じてい ない	必要性を 感じなく なった	わからな い（どち らでもな い）	無回答	区 分
計	1 292	100.0	36.8	32.4	20.6	0.7	9.0	0.6	1
性 別									
男 性	579	100.0	32.8	29.9	27.3	0.7	8.6	0.7	2
女 性	713	100.0	40.0	34.4	15.1	0.7	9.3	0.6	3
年 齢 階 層 別									
20 ～ 29 歳	133	100.0	32.3	24.1	29.3	-	12.8	1.5	4
30 ～ 39 歳	242	100.0	36.4	31.8	21.1	0.4	9.9	0.4	5
40 ～ 49 歳	236	100.0	37.3	32.2	17.4	2.5	10.6	-	6
50 ～ 64 歳	383	100.0	33.2	35.2	20.9	0.5	9.1	1.0	7
65 歳 以 上	298	100.0	43.3	32.9	18.5	-	5.0	0.3	8
農 政 局 等 別									
北 海 道	40	100.0	40.0	35.0	15.0	-	7.5	2.5	9
東 北	138	100.0	35.5	29.7	26.1	-	8.0	0.7	10
関 東	364	100.0	38.2	33.0	20.1	0.5	7.7	0.5	11
北 陸	99	100.0	37.4	33.3	22.2	1.0	5.1	1.0	12
東 海	92	100.0	35.9	37.0	15.2	2.2	9.8	-	13
近 畿	179	100.0	34.6	34.6	20.1	1.1	8.9	0.6	14
中 国 四 国	202	100.0	37.6	34.2	16.8	1.0	9.4	1.0	15
九 州	158	100.0	34.2	25.9	25.9	-	13.9	-	16
沖 縄	20	100.0	45.0	20.0	20.0	-	15.0	-	17

2 備蓄をする時の意識・意向

(1) 必要と考える備蓄量

単位：％

区 分	回答者数 (人)	計	1日分 ぐらい	3日分 ぐらい	5日分 ぐらい	7日分 ぐらい	10日分 ぐらい	半月分 ぐらい	1ヶ月 分以上	無回答	区 分	
計	1	893	100.0	0.4	20.9	20.8	33.0	10.1	9.4	1.2	4.0	1
性 別												
男 性	2	363	100.0	0.3	21.5	20.7	35.0	9.4	8.8	1.1	3.3	2
女 性	3	530	100.0	0.6	20.6	20.9	31.7	10.6	9.8	1.3	4.5	3
年 齢 階 層 別												
20 ～ 29 歳	4	75	100.0	1.3	17.3	17.3	37.3	12.0	10.7	-	4.0	4
30 ～ 39 歳	5	165	100.0	-	26.7	18.2	34.5	8.5	7.3	-	4.8	5
40 ～ 49 歳	6	164	100.0	-	25.6	23.2	28.0	10.4	6.7	1.2	4.9	6
50 ～ 64 歳	7	262	100.0	-	19.8	22.9	35.5	9.9	8.0	0.8	3.1	7
65 歳 以 上	8	227	100.0	1.3	15.9	19.8	31.3	10.6	14.1	3.1	4.0	8
農 政 局 等 別												
北 海 道	9	30	100.0	3.3	13.3	23.3	23.3	6.7	20.0	-	10.0	9
東 北	10	90	100.0	1.1	17.8	24.4	25.6	15.6	10.0	2.2	3.3	10
関 東	11	259	100.0	0.4	21.2	20.5	32.0	10.0	10.0	1.2	4.6	11
北 陸	12	70	100.0	-	18.6	28.6	35.7	5.7	5.7	2.9	2.9	12
東 海	13	67	100.0	-	29.9	16.4	28.4	13.4	7.5	-	4.5	13
近 畿	14	124	100.0	0.8	18.5	19.4	37.1	8.9	12.9	-	2.4	14
中 国 四 国	15	145	100.0	-	20.7	22.8	37.2	5.5	6.2	2.8	4.8	15
九 州	16	95	100.0	-	23.2	15.8	33.7	14.7	9.5	-	3.2	16
沖 縄	17	13	100.0	-	30.8	7.7	46.2	15.4	-	-	-	17

※ 「1 新型インフルエンザの発生（平成21年4月）前と比べた、家庭での食料品備蓄の必要性に対する意識の変化」において、「必要性を感じるようになった」又は「もともと必要性を感じている」と回答した者に対する質問である。

2 備蓄をする時の意識・意向

(2) 備蓄しようと思う品目（複数回答）

区 分	回答者数 (人)	計	米（もち・無菌 包装米飯を 含めても可）	小麦製品 等（うどん、 そば、 パスタ、中 華麵、イン スタント 麵、シリア ル類、パン 等）	野菜類 （玉ねぎ、 じゃがいも、 ごぼう、 さつまいも 等）	豆類（あ ずき、大 豆等）	卵	
計	1	893	100.0	90.4	81.7	65.5	31.0	41.3
性 別								
男 性	2	363	100.0	85.1	78.8	61.2	26.7	36.1
女 性	3	530	100.0	94.0	83.8	68.5	34.0	44.9
年 齢 階 層 別								
20 ～ 29 歳	4	75	100.0	90.7	66.7	41.3	14.7	20.0
30 ～ 39 歳	5	165	100.0	87.9	77.0	48.5	27.9	26.7
40 ～ 49 歳	6	164	100.0	92.7	83.5	58.5	22.0	29.3
50 ～ 64 歳	7	262	100.0	90.5	85.1	71.8	29.8	45.0
65 歳 以 上	8	227	100.0	90.3	85.0	83.7	46.7	63.4
農 政 局 等 別								
北 海 道	9	30	100.0	80.0	90.0	66.7	30.0	46.7
東 北	10	90	100.0	94.4	86.7	76.7	31.1	43.3
関 東	11	259	100.0	90.3	78.8	62.5	28.2	31.7
北 陸	12	70	100.0	88.6	77.1	65.7	31.4	42.9
東 海	13	67	100.0	86.6	79.1	53.7	37.3	34.3
近 畿	14	124	100.0	91.1	79.8	67.7	36.3	39.5
中 国 四 国	15	145	100.0	93.1	82.1	65.5	29.7	51.0
九 州	16	95	100.0	89.5	89.5	65.3	30.5	51.6
沖 縄	17	13	100.0	84.6	84.6	84.6	23.1	69.2

※ 「1 新型インフルエンザの発生（平成21年4月）前と比べた、家庭での食料品備蓄の必要性に対する意識の変化」において、「必要性を感じるようになった」又は「もともと必要性を感じている」と回答した者に対する質問である。

単位：%

缶詰（魚介類、肉類、野菜・きのこ類、果物類）	レトルト食品（カレー、パスタソース、ハンバーグ等）	冷凍食品（市販品の他、家庭で冷凍した魚介、肉、野菜、料理等を含む。）	乾燥食品（切り干し大根、しいたけ、高野豆腐、ひじき、わかめ、こんぶ等）	スープ類（みそ汁、わかめスープ、コーンポタージュ等）	乳製品（チーズ、ヨーグルト、スキムミルク等）	調味料（砂糖、塩、みそ、しょうゆ、食用油、酢、だし、の素、コンソメ、バター等）	嗜好飲料（緑茶、コーヒー、紅茶、ココア等）	その他（ふりかけ、のり佃煮、ジャム、マーガリン、はちみつ等）	無回答	区分
84.4	70.9	62.3	59.2	53.5	37.1	66.1	46.4	38.1	0.3	1
81.8	68.9	55.1	49.3	46.3	32.2	57.0	37.7	32.8	0.3	2
86.2	72.3	67.2	66.0	58.5	40.4	72.3	52.3	41.7	0.4	3
74.7	70.7	57.3	48.0	41.3	20.0	50.7	32.0	18.7	-	4
80.6	80.0	52.7	48.5	56.4	25.5	53.3	38.2	32.1	-	5
84.1	81.7	55.5	54.3	61.0	26.8	62.8	51.8	36.0	0.6	6
87.4	69.8	63.7	56.9	49.2	40.1	69.1	42.7	37.4	0.4	7
87.2	57.7	74.0	77.1	55.1	55.1	79.3	57.3	51.1	0.4	8
86.7	80.0	66.7	50.0	60.0	43.3	60.0	50.0	40.0	-	9
93.3	71.1	62.2	68.9	56.7	44.4	73.3	46.7	45.6	-	10
81.1	71.4	59.8	56.0	48.3	35.9	61.4	44.4	36.7	-	11
85.7	67.1	60.0	54.3	55.7	35.7	67.1	37.1	37.1	-	12
76.1	80.6	59.7	55.2	46.3	31.3	52.2	38.8	34.3	-	13
86.3	71.8	65.3	62.9	55.6	39.5	71.8	51.6	36.3	0.8	14
83.4	66.9	62.1	57.9	59.3	39.3	71.0	51.0	40.7	1.4	15
88.4	68.4	64.2	66.3	54.7	32.6	66.3	47.4	38.9	-	16
84.6	61.5	84.6	53.8	53.8	15.4	76.9	53.8	15.4	-	17

2 備蓄をする時の意識・意向

(3) 購入の仕方

単位：％

区 分	回答者数 (人)	計	事前に計画的に数回に分けて購入する	事前にまとめて購入する	必要が生じた時にまとめて購入する	無回答	区分	
計	1	893	100.0	55.0	18.1	26.0	0.9	1
性 別								
男 性	2	363	100.0	51.2	20.7	27.3	0.8	2
女 性	3	530	100.0	57.5	16.4	25.1	0.9	3
年 齢 階 層 別								
20 ～ 29 歳	4	75	100.0	50.7	21.3	28.0	-	4
30 ～ 39 歳	5	165	100.0	47.9	22.4	29.1	0.6	5
40 ～ 49 歳	6	164	100.0	59.8	17.1	21.3	1.8	6
50 ～ 64 歳	7	262	100.0	56.9	17.9	24.8	0.4	7
65 歳 以 上	8	227	100.0	55.9	15.0	27.8	1.3	8
農 政 局 等 別								
北 海 道	9	30	100.0	36.7	23.3	40.0	-	9
東 北	10	90	100.0	54.4	14.4	30.0	1.1	10
関 東	11	259	100.0	56.4	21.6	22.0	-	11
北 陸	12	70	100.0	54.3	10.0	35.7	-	12
東 海	13	67	100.0	55.2	16.4	28.4	-	13
近 畿	14	124	100.0	58.9	19.4	19.4	2.4	14
中 国 四 国	15	145	100.0	60.0	15.9	21.4	2.8	15
九 州	16	95	100.0	46.3	18.9	34.7	-	16
沖 縄	17	13	100.0	46.2	23.1	30.8	-	17

※ 「1 新型インフルエンザの発生（平成21年4月）前と比べた、家庭での食料品備蓄の必要性に対する意識の変化」において、「必要性を感じるようになった」又は「もともと必要性を感じている」と回答した者に対する質問である。

3 備蓄を必要だと思わない理由（複数回答）

単位：％

区分	回答者数 (人)	計	外出自 粛時でも外出 して購入(入 手)するから	外出自 粛時でも宅配 サービスが期 待できるから	外出自 粛を呼 びかけた、国 や地方公 共団体に 供給責任 があるから	備蓄を する場 所がな いから	備蓄の ための 購入や 管理に 手間が かかる から	その他	無回答	区分	
計	1	275	100.0	41.1	22.2	5.1	13.5	35.3	23.3	4.7	1
性別											
男	2	162	100.0	48.1	18.5	5.6	11.7	39.5	17.9	3.7	2
女	3	113	100.0	31.0	27.4	4.4	15.9	29.2	31.0	6.2	3
年齢階層別											
20～29歳	4	39	100.0	46.2	17.9	5.1	23.1	46.2	17.9	2.6	4
30～39歳	5	52	100.0	61.5	21.2	3.8	15.4	44.2	9.6	1.9	5
40～49歳	6	47	100.0	36.2	23.4	4.3	12.8	25.5	21.3	2.1	6
50～64歳	7	82	100.0	31.7	32.9	7.3	9.8	28.0	32.9	6.1	7
65歳以上	8	55	100.0	36.4	9.1	3.6	10.9	38.2	27.3	9.1	8
農政局等別											
北海道	9	6	100.0	16.7	33.3	-	-	16.7	16.7	33.3	9
東北	10	36	100.0	44.4	22.2	5.6	16.7	33.3	30.6	2.8	10
関東	11	75	100.0	34.7	18.7	5.3	20.0	45.3	21.3	1.3	11
北陸	12	23	100.0	39.1	8.7	4.3	4.3	34.8	26.1	8.7	12
東海	13	16	100.0	18.8	43.8	-	-	25.0	31.3	6.3	13
近畿	14	38	100.0	50.0	18.4	13.2	13.2	28.9	18.4	7.9	14
中国四国	15	36	100.0	44.4	36.1	5.6	11.1	22.2	25.0	2.8	15
九州	16	41	100.0	48.8	17.1	-	12.2	46.3	19.5	4.9	16
沖縄	17	4	100.0	75.0	25.0	-	25.0	-	25.0	-	17

※ 「1 新型インフルエンザの発生（平成21年4月）前と比べた、家庭での食料品備蓄の必要性に対する意識の変化」において、「もともと必要性を感じていない」又は「必要性を感じなくなった」と回答した者に対する質問である。

4 「新型インフルエンザに備えた家庭用食料品備蓄ガイド」に対する意識・意向
 (1) 内容（又は存在）についての認知度

単位：％

区 分	回答者数 (人)	計	知っていた（聞 いたことはあつ た）	知らなかった （聞いたことも なかった）	無回答	区 分
計	1 292	100.0	28.6	70.7	0.6	1
性 別						
男 性	579	100.0	26.9	72.7	0.3	2
女 性	713	100.0	30.0	69.1	0.8	3
年 齢 階 層 別						
20 ～ 29 歳	133	100.0	14.3	85.0	0.8	4
30 ～ 39 歳	242	100.0	24.4	75.6	-	5
40 ～ 49 歳	236	100.0	26.3	72.9	0.8	6
50 ～ 64 歳	383	100.0	29.2	70.0	0.8	7
65 歳 以 上	298	100.0	39.6	59.7	0.7	8
農 政 局 等 別						
北 海 道	40	100.0	22.5	77.5	-	9
東 北	138	100.0	36.2	62.3	1.4	10
関 東	364	100.0	27.2	72.3	0.5	11
北 陸	99	100.0	21.2	78.8	-	12
東 海	92	100.0	31.5	65.2	3.3	13
近 畿	179	100.0	35.8	63.7	0.6	14
中 国 四 国	202	100.0	29.7	70.3	-	15
九 州	158	100.0	22.2	77.8	-	16
沖 縄	20	100.0	15.0	85.0	-	17

4 「新型インフルエンザに備えた家庭用食料品備蓄ガイド」に対する意識・意向
 (2) 家庭における食料品備蓄を検討するうえでの参考度合い

単位：％

区 分	回答者数 (人)	計	かなりの 部分参考 になる (又は参 考にして いる)	一部参考 になる (又は一 部参考に してい る)	参考には ならない	わからな い	無回答	区 分
計	1 292	100.0	46.1	44.7	3.9	4.6	0.8	1
性 別								
男 性	579	100.0	40.6	47.5	5.4	5.9	0.7	2
女 性	713	100.0	50.5	42.4	2.8	3.5	0.8	3
年 齢 階 層 別								
20 ～ 29 歳	133	100.0	35.3	51.9	3.8	7.5	1.5	4
30 ～ 39 歳	242	100.0	41.7	47.5	6.2	4.1	0.4	5
40 ～ 49 歳	236	100.0	41.5	49.2	3.8	5.1	0.4	6
50 ～ 64 歳	383	100.0	44.9	47.3	2.6	4.2	1.0	7
65 歳 以 上	298	100.0	59.4	32.2	4.0	3.7	0.7	8
農 政 局 等 別								
北 海 道	40	100.0	50.0	37.5	5.0	5.0	2.5	9
東 北	138	100.0	52.9	39.9	1.4	5.1	0.7	10
関 東	364	100.0	45.9	43.7	5.8	3.8	0.8	11
北 陸	99	100.0	43.4	48.5	2.0	5.1	1.0	12
東 海	92	100.0	35.9	57.6	5.4	1.1	-	13
近 畿	179	100.0	49.2	39.7	3.9	6.7	0.6	14
中 国 四 国	202	100.0	49.0	44.1	4.0	3.0	-	15
九 州	158	100.0	39.9	48.7	2.5	7.0	1.9	16
沖 縄	20	100.0	45.0	50.0	-	5.0	-	17

4 「新型インフルエンザに備えた家庭用食料品備蓄ガイド」に対する意識・意向
 (3) 多くの方に参考にしていただくための手段・方法（複数回答）

単位：%

区分	回答者数(人)	計	消費者団体を通じて配布	スーパーマーケット等で冊子又はチラシを配布	新型インフルエンザに関する説明会等冊子又はチラシを配布	都道府県や市町村等自治体が発行する情報誌に内容を掲載	新聞、雑誌等の記事で周知	その他	無回答	区分	
計	1	1 292	100.0	24.5	64.5	26.8	68.1	61.7	11.5	0.5	1
性別											
男	2	579	100.0	24.2	61.3	26.4	64.6	63.0	11.1	0.3	2
女	3	713	100.0	24.7	67.0	27.1	71.0	60.6	11.9	0.6	3
年齢階層別											
20～29歳	4	133	100.0	18.0	72.9	18.8	55.6	57.9	10.5	-	4
30～39歳	5	242	100.0	15.7	72.3	19.8	56.2	54.5	10.7	-	5
40～49歳	6	236	100.0	22.5	69.1	25.4	64.4	62.7	8.1	0.4	6
50～64歳	7	383	100.0	26.4	59.8	30.5	70.2	66.6	14.4	1.0	7
65歳以上	8	298	100.0	33.6	56.7	32.2	83.6	62.1	11.7	0.3	8
農政局等別											
北海道	9	40	100.0	32.5	72.5	22.5	65.0	60.0	12.5	-	9
東北	10	138	100.0	26.8	66.7	31.2	80.4	61.6	8.0	0.7	10
関東	11	364	100.0	25.3	68.7	26.9	62.4	61.5	12.4	0.8	11
北陸	12	99	100.0	17.2	58.6	23.2	64.6	57.6	12.1	-	12
東海	13	92	100.0	18.5	65.2	22.8	62.0	65.2	12.0	-	13
近畿	14	179	100.0	27.4	63.7	26.3	68.2	62.6	9.5	0.6	14
中国四国	15	202	100.0	25.2	56.9	28.7	68.8	60.9	14.4	-	15
九州	16	158	100.0	22.8	62.7	25.9	75.3	61.4	10.1	0.6	16
沖縄	17	20	100.0	20.0	80.0	30.0	75.0	75.0	15.0	-	17

【調査事項】

- 問1 現在、新型インフルエンザの感染が拡大しておりますが、新型インフルエンザの発生（平成21年4月）前と比べて、家庭での食料品備蓄の必要性に対する意識は変化しましたか。
（該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。）

「必要性を感じるようになった」「もともと必要性を感じている」「もともと必要性を感じていない」「必要性を感じなくなった」「わからない（どちらでもない）」の中から1つ選択

- 問2 問1で「1 必要性を感じるようになった」または「2 もともと必要性を感じている」とご回答の方にお伺いします。

- (1) 備蓄をする時、どのくらいの備蓄量が必要と考えますか。
（該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。）

「1日分ぐらい」「3日分ぐらい」「5日分ぐらい」「7日分ぐらい」「10日分ぐらい」「半月分ぐらい」「1ヶ月分以上」の中から一つ選択

- (2) 備蓄をする時、どのような品目を備蓄しようと考えますか。
（該当する選択肢の番号を全て選択して回答用紙に記入してください。）

- 1 米（もち・無菌包装米飯を含めても可）
- 2 小麦製品等（うどん、そば、パスタ、中華麺、インスタント麺、シリアル類、パン等）
- 3 野菜類（玉ねぎ、じゃがいも、ごぼう、さつまいも等）
- 4 豆類（あずき、大豆等）
- 5 卵
- 6 缶詰（魚介類、肉類、野菜・きのこ類、果物類）
- 7 レトルト食品（カレー、パスタソース、ハンバーグ等）
- 8 冷凍食品（市販品の他、家庭で冷凍した魚介、肉、野菜、料理等を含む。）
- 9 乾燥食品（切り干し大根、しいたけ、高野豆腐、ひじき、わかめ、こんぶ等）
- 10 スープ類（みそ汁、わかめスープ、コーンポタージュ等）
- 11 乳製品（チーズ、ヨーグルト、スキムミルク等）
- 12 調味料（砂糖、塩、みそ、しょうゆ、食用油、酢、だしの素、コンソメ、バター等）
- 13 嗜好飲料（緑茶、コーヒー、紅茶、ココア等）
- 14 その他（ふりかけ、のり佃煮、ジャム、マーガリン、はちみつ等）

- (3) 備蓄をする時、どのように購入しようと考えますか。
（該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。）

「事前に計画的に数回に分けて購入する」「事前にまとめて購入する」「必要が生じた時にまとめて購入する」の中から一つ選択

- 問3 問1で「3 もともと必要性を感じていない」または「4 必要性を感じなくなった」とご回答の方にお伺いします。

「もともと必要性を感じていない」または「必要性を感じなくなった」と考える理由について、該当する選択肢の番号を全て選択して回答用紙に記入してください。

- 1 外出自粛時でも外出して購入（入手）するから
- 2 外出自粛時でも宅配サービスが期待できるから
- 3 外出自粛を呼びかけた、国や地方公共団体に供給責任があるから
- 4 備蓄をする場所がないから
- 5 備蓄のための購入や管理に手間が掛かるから
- 6 その他（具体的に記入してください。）

問4 今回、消費者モニターの皆様にご送付いたしました「新型インフルエンザに備えた家庭用食料品備蓄ガイド」（平成21年4月）についてお尋ねします。

- (1) 「新型インフルエンザに備えた家庭用食料品備蓄ガイド」の内容（又は存在）をご存じでしたか。（該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。）

「知っていた（聞いたことはあった）」「知らなかった（聞いたこともなかった）」の中から一つ選択

- (2) 「新型インフルエンザに備えた家庭用食料品備蓄ガイド」の内容は、家庭における食料品備蓄を検討するうえで、ご参考になりますか。

（該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。）

「かなりの部分参考になる（又は参考にしている）」「一部参考になる（又は一部参考にしている）」「参考にはならない」「わからない」の中から一つ選択

- (3) 「新型インフルエンザに備えた家庭用食料品備蓄ガイド」を多くの方に参考にさせていただくためには、どのようにすれば良いと思いますか。

（該当する選択肢の番号を全て選択して回答用紙に記入してください。）

- 1 消費者団体を通じて配布
- 2 スーパーマーケット等で冊子又はチラシを配布
- 3 新型インフルエンザに関する説明会等で冊子又はチラシを配布
- 4 都道府県や市町村等自治体が発行する情報誌に内容等を掲載
- 5 新聞、雑誌等の記事で周知
- 6 その他（具体的に記入してください。）

【消費者が安全な食料を安心して購入・消費できる」ための農林水産省の取組について】

問5 あなたは、「消費者が安全な食料を安心して購入・消費できる」ための農林水産省の取組について、どのように評価しますか。あなたのお考えにもっとも近いと思われるものを次の中から1つお選びください。

（該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。）

「大いに信頼できる」「やや信頼できる」「どちらでもない」「あまり信頼できない」「全く信頼できない」の中から一つ選択

問6 問5で「4 あまり信頼できない」「5 全く信頼できない」をお選びになった方にお尋ねします。その理由について、お知らせください。

【利用上の注意】

1 調査の内容

本調査は、新型インフルエンザの発生が家庭での食料品備蓄に対する意識にどのような影響を与えたかを把握するとともに、今後更に家庭での食料品備蓄の重要性を周知・普及し、感染拡大の緩和を図るための基礎資料とするため、現時点で消費者モニターが新型インフルエンザに対する認識や家庭での食料品備蓄についてどのような意識・意向を持っているかを調査をしたものである。

2 調査対象

農林水産情報交流モニターのうち、消費者モニター（1,500名）を対象とした。

3 実施時期

平成21年9月中旬～10月上旬

4 調査方法

農林水産省大臣官房情報評価課からのオンライン調査及び、地方農政局、地方農政事務所、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局からの郵送調査により実施した。

なお、オンライン調査とは、調査対象の情報交流モニター等が、本調査用ホームページに接続して、回答することにより行うものである。

5 調査票の回収率等

	対象者数(名)	回答者数(名)	回収率(%)
消費者モニター	1,500	1,292	86.1

6 その他

(1) 農政局等の区分は次のとおりである。

北海道：北海道

東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

関東：茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野、静岡

北陸：新潟、富山、石川、福井

東海：岐阜、愛知、三重

近畿：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

中国四国：鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知

九州：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島

沖縄：沖縄

- (2) 統計表の各回答率は、各設問（各区分）の有効回答者数計を 100.0とする割合である。
- (3) 表示単位未満を四捨五入したため、計と内訳の積み上げ値は必ずしも一致しない。
- (4) 統計表に使用した記号「－」は、事実のないことを表す。
- (5) 統計表の数値の中には、回答者数の少ないものもあるので、利用に当たっては、十分注意されたい。

連絡先

農林水産省 大臣官房 情報評価課 業務第2班
電 話（代表） 03(3502)8111 内線3256
（直通） 03(3502)8047

この資料は、農林水産省ホームページ【<http://www.maff.go.jp/>】の右側の「統計情報 > 各種調査結果 > 意識・意向調査」からご覧いただけます。